

日本三文殊第一霊場

# 安倍文殊院

眞



安倍文殊院本尊の騎獅文殊菩薩像及び脇侍四像（渡海文殊群像）、更には文殊様の胎内から発見された巻物・造立願文1巻が、平成二十五年春に文化庁より国宝の指定を受けました。この渡海文殊群像は建仁三年（1203年）から承久一年（1220年）にかけて鎌倉時代を代表する仏師のひとり、快慶によって制作されました。

## 国宝・文殊菩薩



当山は今から1360余年前の大化元年（西暦645年）安倍一族発祥の地である当地に、大化の改新時に左大臣となった安倍倉悌麻呂公が創建され、我が国では最古に属する寺院です。  
奈良時代の遣唐留学生・安倍仲麻呂公や平安時代の大陰陽師・安倍晴明公が出生された寺院でもあり我が国陰陽道の源流の寺院でもあります。当山は創建以来、一貫して御祈祷の寺としてその法灯が守られてきております。

特にご本尊の文殊様が鎌倉時代に造立されてからは、安倍晴明公に関わる陰陽道総本家に加え、古文書の記録によれば当山は日本三文殊霊場とあり、文殊様の智恵授与と魔除け・災難除け御祈祷の寺として全国に知られるようになりました。

ご本尊の文殊様は鎌倉時代（建仁三年・1203年）大仏師・快慶によって造立されました。【日本最大（7尺）国宝】当山の文殊様は四人の脇士を伴う「渡海文殊群像（全て国宝）」のお姿で、私達衆生の魔を払い、智恵を授ける為の説法の旅に出かけておられるお姿です。

文殊様は獅子に乗られ、左の手には慈悲・慈愛を象徴する蓮華（ハスの花）を持たれ、右の手には「降魔の利剣（こうまのりけん）」と言う剣を持たれています。

この「降魔の利剣」は私達の人生において思いがけず降り掛かる数々の「魔」を立切って下さる象徴です。

尚、当山は1360有余年の歴史に裏付けされた秘宝秘仏を数多く所蔵しています。特に明日香の石舞台古墳・高松塚古墳・キトラ古墳と共に古墳では全国に7つしかない特別史跡に指定されている当山の文殊院西古墳は築造技術日本一の定評がある古墳です。

また境内には安倍晴明公が天文観測をして吉凶を占う修業をしたと伝わる天文台や、仲麻呂公・晴明公出生の屋敷跡・安倍寺跡（国史跡）、縁結び大神で知られる白山堂（重要文化財）など更には1985年に、安倍晴明公に因む陰陽道の秘宝の数々と当山宝物を公開する為に建立した金閣浮御堂・霊宝館など見所が数多くあります。

# 金閣浮御堂・靈宝館「七参り」について

金閣浮御堂・靈宝館は仲麻呂公とも称し安倍仲麻呂公及び安倍晴明公をお祀りしているお堂です。室内には秘宝の仲麻呂公及び晴明公の御尊像や御尊軸を始め晴明公に因む陰陽道に関する古文書や緒尊像、更には当山の宝物が特別公開をされております。

殊に安倍晴明公は平安時代の大陰陽師として有名で魔除け災難除けの守護神として、大阪や京都の晴明神社を始めとして全国的に信仰されています。この為、晴明公の出生寺で陰陽道源流の寺院である当山は、晴明公に因む陰陽道の資料を広く公開する根本道場として金閣浮御堂を建立し、単なる宝物館としてではなく、参拝者の皆様が厄災を払うための「七まいり」を行うための願掛け修行場として公開されています。

古来より七難即滅七福即生と言われるように、私達は一生の内に七つの思いがけない災難に出会うとされています。七まいりが出来るこのお堂は、そうした七難（災難）に遭わない様に、厄除け・災難除けの神仏が安置されているお堂の回廊を七回まわり、七難を取り除く行場となっております。

金閣浮御堂の六面の壁面には真言密教の秘仏である十二天御尊軸（12軸）が祀られております。この十二天御尊軸は東西南北と東北・東南・西北・西南の四方八方と更には天と地をお守り下さる神々で、それぞれの方位に準じた壁面に安置されております。加えて金閣浮御堂の御本尊は開運の弁財天であり、その脇には厄除け守護の御本尊である九曜星の神々（9仏）、更には安倍晴明公と安倍仲麻呂公の御尊像が大切に受け継がれており、人々の信仰をあつめています。

## 魔除け・厄除け 方位災難除け行場 金閣浮御堂



秘宝・安倍晴明公御尊軸  
＜江戸時代＞



秘宝・安倍仲麻呂公像

当山は仲麻呂公の出身地で、「天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山に出し月かも」は有名である。＜室町時代＞



秘宝・安倍晴明公像

当地出生の晴明公は仲麻呂公の子孫で、平安時代陰陽師として活躍した。「日本の占いの祖」として仰がれている。＜室町時代＞

日本三文所第一霊場

## 安倍文殊院

神 仏 霊 場  
大和 ぼけ封じ 霊場 <第三番>  
大和 十三 佛 霊場 <弁財天>  
大和 七福 神 八宝 霊場 <弁財天>

〒633-0054 奈良県桜井市安倍山

電話 0744 (43) 0002  
FAX 0744 (46) 3000

www.abemonjuin.or.jp

# 平成二十七年 九曜星運勢表

数え年で選んだ星が本年の巡り星と運勢です。

星	色	運勢	女	男
木曜星	白	もくようせい 運気盛んで人助けや吉事が舞い込む順調な年。着実なる努力を心がけるべし。	93	99
月曜星	白	げつようせい 待てば海路の日和ありと言ふ吉連の年。堅実なる計画ならば大勝あり但し油断驕りは禁物。	94	98
計都星	黒	けいとせい 病難、盗難などの災難多く不運なる年。特に家内安泰に尽すべし。	91	97
火曜星	黒	かようせい 運気沈滞の年で災厄に見舞われるような事が多く身辺警戒の上自戒が肝要。	92	96
日曜星	白	にちようせい 運気下降の年なれば細心注意し信篤ければ禍去り福残る。	97	95
金曜星	白	きんようせい 運気停滞し八方塞がりの年。何事につけても心焦らず細心注意が肝要。	98	94
水曜星	白	すいようせい 目上の人の引立を受け停滞していた物が進展する大運の年。	99	93
土曜星	白	どようせい ようやく上り坂に向かいつつある運の年でしっかりと計画を立て着実に一歩づつ進むことを心がけるべし。	95	92
羅喉星	黒	らごせい 運勢は低迷する年で万事がまんをして好期到来を待つことが肝要。	96	91



# 安倍文殊院 平成二十七年運勢

星	色	年齢	性別	年齢	性別
海中金乙丑	白	90	女	91	男
大正十四年	白	91	女	92	男
海中金甲子	白	91	女	92	男
大正十三年	白	92	女	93	男
大海水癸亥	白	92	女	93	男
大正十二年	白	93	女	94	男
大海水壬戌	白	93	女	94	男
大正十一年	白	94	女	95	男
柘榴木辛酉	白	94	女	95	男
大正十年	白	95	女	96	男
柘榴木庚申	白	95	女	96	男
大正九年	白	96	女	97	男
天上火己未	白	96	女	97	男
大正八年	白	97	女	98	男
天上火戊午	白	97	女	98	男
大正七年	白	98	女	99	男
沙中土丁巳	白	98	女	99	男
大正六年	白	99	女	0	男
沙中土乙辰	白	99	女	0	男
昭和元年	白	0	女	1	男
昭和十一年	白	10	女	11	男
昭和十二年	白	11	女	12	男
昭和十三年	白	12	女	13	男
昭和十四年	白	13	女	14	男
昭和十五年	白	14	女	15	男
昭和十六年	白	15	女	16	男
昭和十七年	白	16	女	17	男
昭和十八年	白	17	女	18	男
昭和十九年	白	18	女	19	男
昭和二十年	白	19	女	20	男
昭和二十一年	白	20	女	21	男
昭和二十二年	白	21	女	22	男
昭和二十三年	白	22	女	23	男
昭和二十四年	白	23	女	24	男
昭和二十五年	白	24	女	25	男
昭和二十六年	白	25	女	26	男
昭和二十七年	白	26	女	27	男
昭和二十八年	白	27	女	28	男
昭和二十九年	白	28	女	29	男
昭和三十年	白	29	女	30	男
昭和三十一年	白	30	女	31	男
昭和三十二年	白	31	女	32	男
昭和三十三年	白	32	女	33	男
昭和三十四年	白	33	女	34	男
昭和三十五年	白	34	女	35	男
昭和三十六年	白	35	女	36	男
昭和三十七年	白	36	女	37	男
昭和三十八年	白	37	女	38	男
昭和三十九年	白	38	女	39	男
昭和四十年	白	39	女	40	男
昭和四十一年	白	40	女	41	男
昭和四十二年	白	41	女	42	男
昭和四十三年	白	42	女	43	男
昭和四十四年	白	43	女	44	男
昭和四十五年	白	44	女	45	男
昭和四十六年	白	45	女	46	男
昭和四十七年	白	46	女	47	男
昭和四十八年	白	47	女	48	男
昭和四十九年	白	48	女	49	男
昭和五十年	白	49	女	50	男
昭和五十一年	白	50	女	51	男
昭和五十二年	白	51	女	52	男
昭和五十三年	白	52	女	53	男
昭和五十四年	白	53	女	54	男
昭和五十五年	白	54	女	55	男
昭和五十六年	白	55	女	56	男
昭和五十七年	白	56	女	57	男
昭和五十八年	白	57	女	58	男
昭和五十九年	白	58	女	59	男
昭和六十年	白	59	女	60	男
昭和六十一年	白	60	女	61	男
昭和六十二年	白	61	女	62	男
昭和六十三年	白	62	女	63	男
昭和六十四年	白	63	女	64	男
昭和六十五年	白	64	女	65	男
昭和六十六年	白	65	女	66	男
昭和六十七年	白	66	女	67	男
昭和六十八年	白	67	女	68	男
昭和六十九年	白	68	女	69	男
昭和七十年	白	69	女	70	男
昭和七十一年	白	70	女	71	男
昭和七十二年	白	71	女	72	男
昭和七十三年	白	72	女	73	男
昭和七十四年	白	73	女	74	男
昭和七十五年	白	74	女	75	男
昭和七十六年	白	75	女	76	男
昭和七十七年	白	76	女	77	男
昭和七十八年	白	77	女	78	男
昭和七十九年	白	78	女	79	男
昭和八十年	白	79	女	80	男
昭和八十一年	白	80	女	81	男
昭和八十二年	白	81	女	82	男
昭和八十三年	白	82	女	83	男
昭和八十四年	白	83	女	84	男
昭和八十五年	白	84	女	85	男
昭和八十六年	白	85	女	86	男
昭和八十七年	白	86	女	87	男
昭和八十八年	白	87	女	88	男
昭和八十九年	白	88	女	89	男
昭和九十年	白	89	女	90	男
昭和九十一年	白	90	女	91	男
昭和九十二年	白	91	女	92	男
昭和九十三年	白	92	女	93	男
昭和九十四年	白	93	女	94	男
昭和九十五年	白	94	女	95	男
昭和九十六年	白	95	女	96	男
昭和九十七年	白	96	女	97	男
昭和九十八年	白	97	女	98	男
昭和九十九年	白	98	女	99	男
平成元年	白	99	女	0	男
平成十一年	白	10	女	11	男
平成十二年	白	11	女	12	男
平成十三年	白	12	女	13	男
平成十四年	白	13	女	14	男
平成十五年	白	14	女	15	男
平成十六年	白	15	女	16	男
平成十七年	白	16	女	17	男
平成十八年	白	17	女	18	男
平成十九年	白	18	女	19	男
平成二十年	白	19	女	20	男
平成二十一年	白	20	女	21	男
平成二十二年	白	21	女	22	男
平成二十三年	白	22	女	23	男
平成二十四年	白	23	女	24	男
平成二十五年	白	24	女	25	男
平成二十六年	白	25	女	26	男
平成二十七年	白	26	女	27	男
平成二十八年	白	27	女	28	男
平成二十九年	白	28	女	29	男
平成三十年	白	29	女	30	男
平成三十一年	白	30	女	31	男
平成三十二年	白	31	女	32	男
平成三十三年	白	32	女	33	男
平成三十四年	白	33	女	34	男
平成三十五年	白	34	女	35	男
平成三十六年	白	35	女	36	男
平成三十七年	白	36	女	37	男
平成三十八年	白	37	女	38	男
平成三十九年	白	38	女	39	男
平成四十年	白	39	女	40	男
平成四十一年	白	40	女	41	男
平成四十二年	白	41	女	42	男
平成四十三年	白	42	女	43	男
平成四十四年	白	43	女	44	男
平成四十五年	白	44	女	45	男
平成四十六年	白	45	女	46	男
平成四十七年	白	46	女	47	男
平成四十八年	白	47	女	48	男
平成四十九年	白	48	女	49	男
平成五十年	白	49	女	50	男
平成五十一年	白	50	女	51	男
平成五十二年	白	51	女	52	男
平成五十三年	白	52	女	53	男
平成五十四年	白	53	女	54	男
平成五十五年	白	54	女	55	男
平成五十六年	白	55	女	56	男
平成五十七年	白	56	女	57	男
平成五十八年	白	57	女	58	男
平成五十九年	白	58	女	59	男
平成六十年	白	59	女	60	男
平成六十一年	白	60	女	61	男
平成六十二年	白	61	女	62	男
平成六十三年	白	62	女	63	男
平成六十四年	白	63	女	64	男
平成六十五年	白	64	女	65	男
平成六十六年	白	65	女	66	男
平成六十七年	白	66	女	67	男
平成六十八年	白	67	女	68	男
平成六十九年	白	68	女	69	男
平成七十年	白	69	女	70	男
平成七十一年	白	70	女	71	男
平成七十二年	白	71	女	72	男
平成七十三年	白	72	女	73	男
平成七十四年	白	73	女	74	男
平成七十五年	白	74	女	75	男
平成七十六年	白	75	女	76	男
平成七十七年	白	76	女	77	男
平成七十八年	白	77	女	78	男
平成七十九年	白	78	女	79	男
平成八十年	白	79	女	80	男
平成八十一年	白	80	女	81	男
平成八十二年	白	81	女	82	男
平成八十三年	白	82	女	83	男
平成八十四年	白	83	女	84	男
平成八十五年	白	84	女	85	男
平成八十六年	白	85	女	86	男
平成八十七年	白	86	女	87	男
平成八十八年	白	87	女	88	男
平成八十九年	白	88	女	89	男
平成九十年	白	89	女	90	男
平成九十一年	白	90	女	91	男
平成九十二年	白	91	女	92	男
平成九十三年	白	92	女	93	男
平成九十四年	白	93	女	94	男
平成九十五年	白	94	女	95	男
平成九十六年	白	95	女	96	男
平成九十七年	白	96	女	97	男
平成九十八年	白	97	女	98	男
平成九十九年	白	98	女	99	男
平成百年	白	99	女	0	男

平成二十七年数え年早見表 (縦太文字の漢数字は数え年です。算用数字は誕生日後の満年齢です。)

# 魔除け・方位除け御祈祷と玄関魔除け札

当山は占いの祖で知られる平安時代の陰陽師・安倍晴明公出生のお寺です。陰陽道とは簡単に言うと中国で生まれた「陰陽五行説」に基づき吉凶・禍福を判断して未来を占い、総ての行動を導いて行く事を目的とした思想と技術を指します。具体的には私達の身近な例を挙げますと、今でも大安・仏滅などの吉凶を選んで行事を催したり、また手の打ちようがない困難に出会ったときに「八方塞がり」と言いますが、この八方とは東・西・南・北の四方と東北・東南・西北・西南の四隅を指します。

古来からこの八方は、陰陽五行等の条理によって人それぞれ、年によって本命殺、暗剣殺、八方的殺（八方塞がり）、鬼門塞がり等の方位の祟り（たたり）、障り（さわり）があり、月により日によって吉凶があり、これらが人事百般を支配して人生の禍福、盛衰を決めると言われております。しかし、あわただしい現代社会に生活する私達にとっては、いちいちこれらの法則に従って行動する事は、むしろ不可能と言わなければなりません。そこで私達は知らず知らずの間に、また知りながらもいわゆる方位を犯して旅行などをし、又日常生活を営み、家相の合わない家屋に居住し、転宅するなどしております。

この様な方位を無視した私達の行動は、時として大きな災難に出会うことがしばしばあります。こうした一切の災難を避ける為、ご自宅への魔の侵入を封じる「結界札」として古来より「玄関魔除け札」が現代まで伝わっております。

特に入念な魔除け結界を望まれる方は、一年に一度、魔除け・方位除けの御祈祷をお受けになられることをお勧め致します。

## 厄除け御祈祷

厄年とは、人の一生の間で最も注意をしなければならない年で、何かの事象が起こる可能性がある年です。

特に男女共の十三歳（数え年）は「十三まいり」と称します。これは「変体の厄」と言い、子供から大人に体調が変わる節目の年と言われれ子供の大厄です。男の四十二歳と女の三十二歳は大人の厄で特に注意が肝要です。



この様に厄年に当たる人は、不測の災難から逃れ、健康と開運を祈る厄除け御祈祷をお受けになられ、充実した人生をお過ごし下さい。

平成27年 大厄 曆			
	前厄	本厄	後厄
男の大厄	13才 十三参り 平成15年生まれ		
	24才 平成4年生まれ	25才 平成3年生まれ	26才 平成2年生まれ
	41才 昭和50年生まれ	42才 昭和49年生まれ	43才 昭和48年生まれ
	60才 昭和31年生まれ	61才 昭和30年生まれ	62才 昭和29年生まれ
	13才 十三参り 平成15年生まれ		
女の大厄	18才 平成10年生まれ	19才 平成9年生まれ	20才 平成8年生まれ
	32才 昭和59年生まれ	33才 昭和58年生まれ	34才 昭和57年生まれ
	36才 昭和55年生まれ	37才 昭和54年生まれ	38才 昭和53年生まれ
	60才 昭和31年生まれ	61才 昭和30年生まれ	62才 昭和29年生まれ

文殊師利菩薩 安倍山  
奉修方位除災御祈祷寶牘  
安倍晴明公 文殊院  
年月御祈祷